



日日進步

會報文中の【番号】は、會員番号を示します。

彩虹、見に来てね

渡部 真澄 [033]

皆様、大変ご無沙汰しております。2014年2月のHKPTAのパーティでご挨拶させていただいた後、4月に来港し早いもので2年経ちました。

現在の住まいは九龍灣です。あまり観光で訪れる事のない、近所のお気に入りのスポットをご紹介します。

1. 彩虹駅

自宅の最寄り駅がMTR彩虹駅となります。

西貢へミニバスで行く際下車する方もいらっしゃると思います。降りたホームのタイルが「彩虹(レインボー)」になっているのと、ホームドア上の部分が香港の古い写真の紹介となっているのをご覧頂きたいと思います。



2. 牛池灣街市

彩虹駅から直結で行ける街市です。

こちらの街市は、建物の中+外という二段階構成になっており、外部分をぶらぶらするのが好きです。奥に進むと住宅地(牛池灣村)があり、茶樓の天井には鳥籠がぶらさがっています。出勤時に鳥籠を両手に持っているおじさんを見かける事があるのですが、行き先はこのようです。



3. 美味村酒家 (消防同樂會)

消防署にお勤めの方向けの施設(バーベキュー場もあるそうです)なのですが、酒家は一般の人も入れます。私はたまに飲茶しています。



旧空港跡地は近年の開発によりどんどん新しいビルなどが建設されています。その様子を見に来つつ散策はいかがでしょう？

B747、ラストフライトへ

[001] 小柳 淳

日本と香港を往復し続けているHKPTA会員のみなさんは、今までに大きな機体のジャンボジェットことボーイング747に乗ったことがある方も多いと思います。ジャンボはすでにJALとANAから退役し、現在東京香港間にはキャセイだけが運行しています。羽田発着のCX543/542便の1往復です。キャセイのB747旅客機は1979年に導入されて以来37年もの期間飛び続け、現在では3機のみとなっているそうです。

私は昨年10月と今年2月に続けて543/542便で往復することができました。私の初香港は1983年。その往路はJALのB747でした(帰路もB747のはずが機材変更でなんとDC8!)。それ以来、B747全盛期に香港旅行を繰り返していました。キャセイではロッキード・トライスターもありましたし、A330やB777にも乗りました。それでも香港へは各社の747が飛んでいて、747が一番多かった気がします。これからはキャセイ、JALにA350が入ってきます。こうして飛行機も世代替わりしてゆくのですね。

最後のキャセイB747も今年の秋にはラストフライトを迎えます。Xデーは9月30日とも10月1日とも噂されていますが、残る4、5か月の間に搭乗する機会はあるのでしょうか。



キャセイパシフィック航空CX542便、香港国際空港にて

総会&パーティ

尾崎 良章 [036]

HKPTAの総会が2/16(火)に中央総武緩行線大久保駅徒歩2分のスペインバルBoca loca(ボカロカ)にて、会員17名、会員友人1名の計18名にて盛大に開催されました。

毎年恒例になっている香港迷あるいはその筋の方にしかわからないDetailの細かいクイズによる(突っ込みもDetailが細かい)、大量のこれまたその筋の方にはたまらない香港土産争奪戦が行われました。そして時期が時期だけにRed Pocket(駐在員的にはお年玉感覚)が配られ、1枚を除いて空袋の中で見事にHK\$2入りの袋を引き当てた会員番号#36尾崎が文責です。



Red Pocketと言えば本来的には、未婚の男女に周囲が贈るものなのですが、駐在員事務所長であった私は全員既婚者のスタッフ(と言っても4名)に毎年配りました。この時期両替で銀行が混雑するのも文化的特徴。現地スタッフが多い駐在員には手痛い出費の季節です。又、アパートのガードマン等が妙に愛想がよくなるのも香港チックでした。(大概日本に帰国していたので私は配らなかつたですが。)

今年の旧正月は私の業界は中国の皆さまの所謂「爆買」がなく、大外れだったのですが、購入動向も普通になってきて、商売的には良くなかったですが、そういうもんだらうと感じております。

会の途中から飲み過ぎて記憶の回路が融解(毎度言っている気がいたしますが、サングリアが良くなかったに違いない)、相当に酔っぱらいオヤジになっていたことしか覚えておりません。職責を全うできず皆さま申し訳ございません。



写真提供: 関根寛 [014]

会長に引き続き、会計長も「サボナラ」の経験。

香港ATV停波

田村 善隆 [003]

みなさんご承知のように、香港で放送されている地上波テレビ局2局のうちの『亜洲電視・ATV』が、経営不振の影響で放送免許が更新されず、4月2日午前0時に放送が打ち切られました。私はちょうど4月1日から5日まで香港にいたので放送停止の瞬間を見ることができました。

私は渡港するとたいてい毎晩夜食に火鍋を食べに行くのですが、1日の晩も炮台山の火鍋屋に11時半ごろ着いてテレビがよく見えそうな席に陣取り、鍋と時計とテレビを交互に見つつ停波を待っていたところ、女性タレント4人が旅番組でワインについて語り合っているようなシーンの途中でいきなり青い画面に切り替わりあっけなく終了。



店内の他の客は別に騒ぎもせず、数人が『おー!』と言った程度で特に興味があるようにも見受けられず、拍子抜けしてしまいました。

しかし、帰国後にいろいろ調べてみたら、旅番組の前には10分間程度の『放送終了のあいさつ』的な番組が流れ、その後で旅番組(再放送)となり、停波直前には女性のひとりが『都應該要獨立』(独立するべきだ)と意味深な一言を発していました。これは『ATVの遺言』じゃない?とネットで大きな話題になっていたそうです。どうも時間を合わせて当局への当てこすりを狙ったようですね。

ATVがなくなってもあまり困る人はいないと思いますが、競馬番組だけはTVBには真似できない充実度だったので、一部競馬ファンはがっかりしているかも知れませんね。

後記

総会の写真が暗いのは関根さんの写真のせいではなく、我が家のプリンタのせい。関根さんすみません。しかし渡部さんを香港に送りだしたのはつい昨日のことのようでしたがなんともう2年とは、あっという間ですね。今年もあっという間に1年の折り返しが近づきます。今年の夏はオリンピック、きつとあっという間に始まって終わるんでしょう。そして秋～冬がきて、あっという間にトラムパーティに……さて今年もトラムパーティは開催できるか?(会報担当[002])